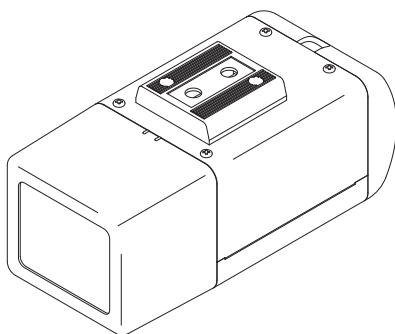




取扱説明書

赤外デイナイトカメラ

C-CV160S-3



このたびは、赤外デイナイトカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

TOA 株式会社

目次

安全上のご注意	4
使用上のご注意	6
概 要	6
特 長	7
各部の名称	8
設置のしかた	9
接続のしかた	
同軸ケーブルの処理のしかた	10
3C-2V 使用のとき	10
5C-2V 使用のとき	10
7C-2V 使用のとき	10
レンズカバーとリアカバーの取り付け・取り外しかた	10
レンズカバーの取り付け・取り外しかた	10
リアカバーの取り付け・取り外しかた	10
接続例	11
マイクユニット(別売品)の取り付けかた	11
画角・フォーカスの調節のしかた	
調整モードについて	12
カメラの調節のしかた	13
カメラ機能の設定のしかた	
設定項目の一覧	14
カメラメニューの基本操作	15
カメラメニュー画面 1 (ページ(1 / 3))の設定	16
プログレッシブの設定	16
明るさの設定	16
シャッタースピードの設定	16
ホワイトバランスの設定	17
AGC の設定	17
スローシャッターの設定	17
デイナイトの設定	18
LED の設定	18
カメラメニュー画面 2 (ページ(2 / 3))の設定	19
逆光補正の設定	19
コントラスト補正の設定	21
色の濃さの設定	21
エンハンサーの設定	21

プライバシーマスクの設定	22
モニターの設定	23
反転の設定	23
電子ズームの設定	23
カメラメニュー画面 3 (ページ 3 / 3) の設定	24
カメラ ID の設定	24
モーションディテクトの設定	25
LANGUAGE の設定	25
初期化の設定	25
故障かな？と思ったら	26
仕 様	27
別売品	27
保証書	28

安全上のご注意

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号について

行為を禁止する記号



分解禁止



禁止

行為を強制する記号



強制



電源プラグ
を抜け



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

水にぬらさない

本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。



禁止

設置場所の強度を確認する

取付金具類を含む全重量に十分耐えられる強度のある所に取り付けてください。

十分な強度がないと、落下して、けがの原因となります。



強制

振動のないところに設置する

取付ねじやボルトがゆるみ、落下などの事故の原因となります。



強制

屋外に設置しない

本機は、屋内専用品です。

屋外で使用すると、部品の劣化により、機器が落下して、けがの原因となります。また、雨などがかかると、感電の原因となります。



禁止

万一、異常が起きたら

次の場合、電源の供給を中止して販売店にご連絡ください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 落したり、ケースを破損したとき
- 接続ケーブルが傷んだとき（心線の露出、断線など）
- 音が出ないとき（別売のマイクユニットを使用している場合）
- 画面が映らないとき



電源プラグ
を抜け

内部を開けない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。

内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

内部を開けての作業は、専門業者にご依頼ください。



分解禁止



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

内部に異物を入れない

本機の内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。



禁 止



注意

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

湿気やほこりの多い場所などに置かない

湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。



禁 止

工事は販売店に相談する

取付工事は、技術と経験が必要です。販売店にご相談ください。
適切な工事を行わないと、落下して、けがの原因となることがあります。



強 制

製品にぶら下らない

本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。
倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。



禁 止

定期的な点検をする

販売店に、定期的な点検を依頼してください。
取付金具類の破損や腐食などにより、落下して、けがの原因となることがあります。



強 制

お手入れの際、長期間使用しない場合の注意

お手入れのときや長期間本機をご使用にならないときは、安全のため電源の供給を中止してください。
守らないと、感電・火災の原因となることがあります。



電源プラグ
を抜く

使用上のご注意

- 定電圧方式カメラドライブユニットに接続してください。方式の異なるカメラドライブユニットに接続すると、故障の原因となります。
- レンズ面を太陽や強い照明・反射に向けないでください。CCD 内部の色フィルターが劣化して、画像が変色することがあります。
- 強いショックや振動を与えないでください。故障の原因となります。
- 温度が -10℃～+50℃、湿度が 90% 以下（ただし結露のないこと）の場所で使用してください。
- 清掃は乾いたやわらかい布でふいてください。ベンジン・シンナー・アルコール類・化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。変形、変色の原因となります。
- レンズにほこりがついた場合は、カメラ用のブロワーやレンズクリーニングペーパーで軽く清掃してください。
- カメラケーブルを配線するときは、電気製品（蛍光灯）などの他の配線には近づけないでください。近づけて配線すると、画質の低下をまねくことがあります。このようなときは、配線を変えてください。
- テレビの送信アンテナやモーター・トランスなどの強い電界や磁界の近くでお使いになると、ビデオモニターの画面がゆがんだり、ゆれたりすることがあります。このような場合は、ケーブル専用の薄銅電線管を設けて通線してください。
- 別売のマイクユニットを使用するときは、エアコンの吹き出し口など、騒音の高い場所への設置は避けてください。
- ハウジングに入れて使用しないでください。赤外光の反射などにより、画質の低下をまねきます。
- レンズは精密部品です。ズームリング固定ねじ、フォーカスリング固定ねじ以外の部分（アイリス部など）には触れないようにしてください。故障の原因となります。
- 個人情報について
本機または本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる映像情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。^{*}
法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。
^{*} 経済産業省の「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における「個人情報に該当する事例」を参照してください。

概要

1/3 型 CCD を搭載した赤外デナイトカメラです。
プログレッシブスキャン CCD を採用しています。フレーム録画が可能な録画機器を使用することで、垂直解像度が 2 倍の精細な映像再生が可能です。
自動絞り付きバリフォーカルレンズがカメラに組み込まれていますので、画角を手動調節できます。
デナイト機能を搭載しており、明るい場所ではカラーカメラ（デイモード）、暗い場所では高感度白黒カメラ（ナイトモード）として機能します。ナイトモードでは、内蔵の赤外 LED 照明が点灯することで、照明のない場所でも撮影することができます。また、逆光に強いワイドダイナミック機能も搭載していますので、24 時間監視が必要なあらゆる場所に適しています。
電源は、定電圧方式カメラドライブユニットから供給します。
電源供給と映像出力の配線は、カメラドライブユニットに接続する同軸ケーブル 1 本で済むため、配線作業が容易です。
別売のマイクユニットを使用することで、音声も同軸ケーブルで多重伝送することができます。

特 長

● プログレッシブモード

プログレッシブモードを搭載しています。フレーム録画が可能な録画機器との組み合わせでは、インターレースノイズが発生しません。また、垂直解像度が2倍の精細な映像再生が可能です。(別途デジタルレコーダーの設定が必要な場合があります。)

● 3.5 倍バリフォーカルレンズ内蔵

3 ～ 10.5 mm の 3.5 倍バリフォーカルレンズが組み込まれていますので、画角を調整できます。

● 調整モード機能

カメラの画角・フォーカスを手動調整する際に便利な調整モードを搭載しています。このモードでは、被写界深度を浅くするだけでなく、画角調整に便利なグリッド線やフォーカスレベルが表示され、より厳密な画角・フォーカス調整を行うことができます。

● デイナイトモード

赤外線カットフィルターを機械的に抜き差しすることで、明るい場所ではカラーカメラ(デイモード)、暗い場所では高感度白黒カメラ(ナイトモード)として機能します。約 2 [lx] でデイモードからナイトモードに切り換わり、約 10 [lx] でナイトモードからデイモードに切り換わります。^{*1} 切り換わる際には、瞬間的な明るさの変化(車のヘッドライトなど)での誤動作を防ぐため、約 5 秒の待ち時間があります。^{*2}

^{*1} 切り換わり照度は、カメラメニューのデイナイト設定、AGC 設定、画角や被写体によって変化します。

^{*2} 待ち時間は、カメラメニューのデイナイト設定によって変更可能です。

● 赤外 LED 照明搭載

ナイトモード時には、内蔵の赤外 LED 照明が点灯します。照明のない環境でも被写体を映し出すことができます。赤外 LED 照明の照射距離は、約 12 m です。(スローシャッター「OFF」時)

● 逆光補正

逆光補正には、通常の逆光補正のほかに、ワイドダイナミック(WDR)機能も搭載しています。建物のエントランスなど、明るい屋外と暗い屋内の両方が画面に入るような状況でも、黒つぶれや白飛びの少ない映像を得ることができます。(プログレッシブモードでは、ワイドダイナミック機能は働きません。)

● プライバシーマスク機能

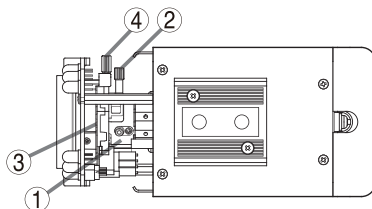
プライバシーマスク機能を搭載していますので、プライバシーに配慮したカメラ運用が可能です。

● カメラメニュー

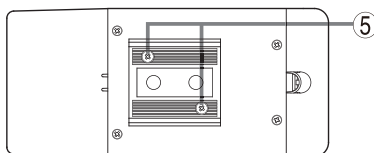
カメラメニューを搭載していますので、詳細なカメラの機能設定は、カメラメニューで調整できます。

各部の名称

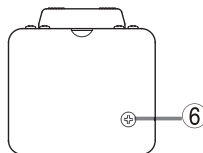
〔レンズカバーを外した上面図〕



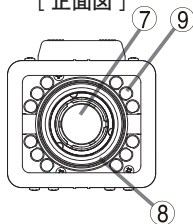
〔上面図〕



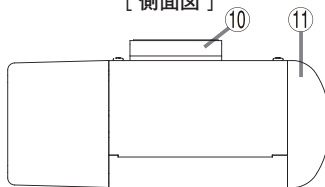
〔背面図〕



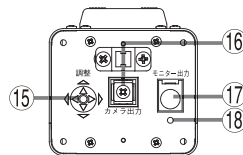
〔正面図〕



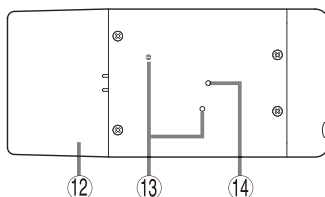
〔側面図〕



〔リアカバーを外した背面図〕



〔底面図〕

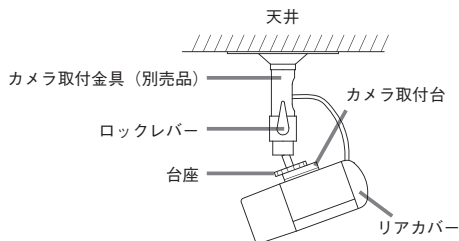


- | | |
|----------------|-------------------------|
| ① ズームリング | ⑩ カメラ取付台 |
| ② ズームリング固定ねじ | ⑪ リアカバー |
| ③ フォーカスリング | ⑫ レンズカバー |
| ④ フォーカスリング固定ねじ | ⑬ カメラ取付台固定穴 |
| ⑤ カメラ取付台固定ねじ | ⑭ マイクユニット固定穴 |
| ⑥ リアカバー取付ねじ | ⑮ メニューキー |
| ⑦ パリフォーカルレンズ | ⑯ カメラ出力端子 |
| ⑧ 遮光リング | ⑰ モニター出力端子 (RCA ピンジャック) |
| ⑨ 赤外 LED | ⑱ リアカバー取付ねじ穴 |

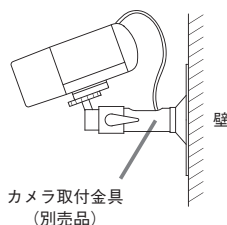
※ ⑬ と ⑭ の固定穴は、上下どちらの面にもあります

設置のしかた

[天井取付例]

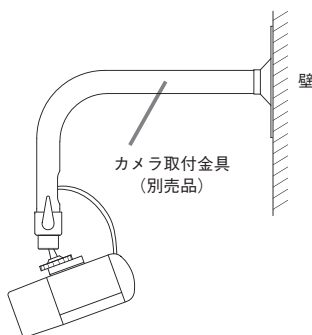


[壁面取付例]



警告

取付金具類を含む全重量に十分耐えられる強度のある所に取り付けてください。
十分な強度がないと落下して、けがの原因となります。



1 別売のカメラ取付金具を天井や壁に取り付ける。

カメラ取付金具は電工ボックスなどを使って、金具に付属のねじで固定します。このとき、同軸ケーブルをカメラ取付金具の穴に通してください。

2 カメラ取付金具の台座を回しながら、カメラ取付台のねじ穴にしっかりと締め込む。

メモ

- カメラ取付台は、カメラの上側または下側に取り付けることができます。設置状態に応じて付け替えてください。
- カメラ取付台の取り外しと取り付けは、カメラ取付台固定ねじで行ってください。

3 同軸ケーブルを配線し、カメラの向きを決めて固定する。

向きを決めた後、ロックレバーを回してカメラを固定してください。

接続のしかた

■ 同軸ケーブルの処理のしかた

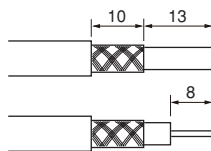
● 3C-2V 使用のとき

- 1 ケーブル外被を先端から 13 mm のところまで取り除く。
- 2 シールドを折り返してケーブルにかぶせ、絶縁体を先端から 8 mm のところまで取り除く。



● 5C-2V 使用のとき

- 1 ケーブル外被を先端より 23 mm のところまで取り除き、シールドを先端から 13 mm のところまで取り除く。
- 2 絶縁体を先端から 8 mm のところまで取り除く。



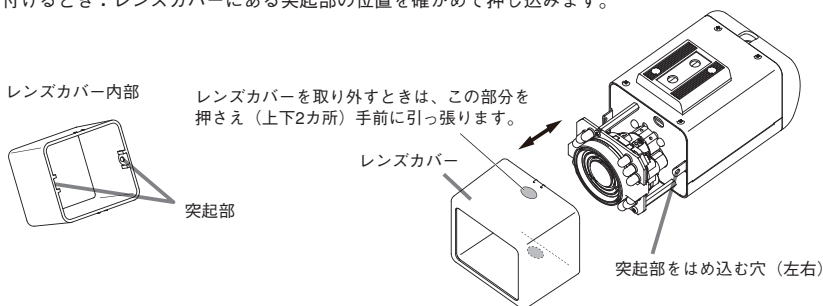
● 7C-2V 使用のとき

機器の近くで、5C-2V に変換して接続します。

■ レンズカバーとリアカバーの取り付け・取り外しかた

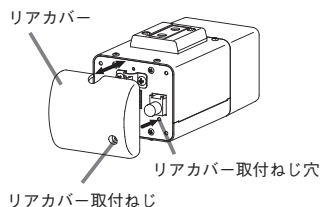
● レンズカバーの取り付け・取り外しかた

取り外すとき : レンズカバーの上下面をつかみ軽く押さえて手前に引っ張ります。
取り付けるとき : レンズカバーにある突起部の位置を確かめて押し込みます。



● リアカバーの取り付け・取り外しかた

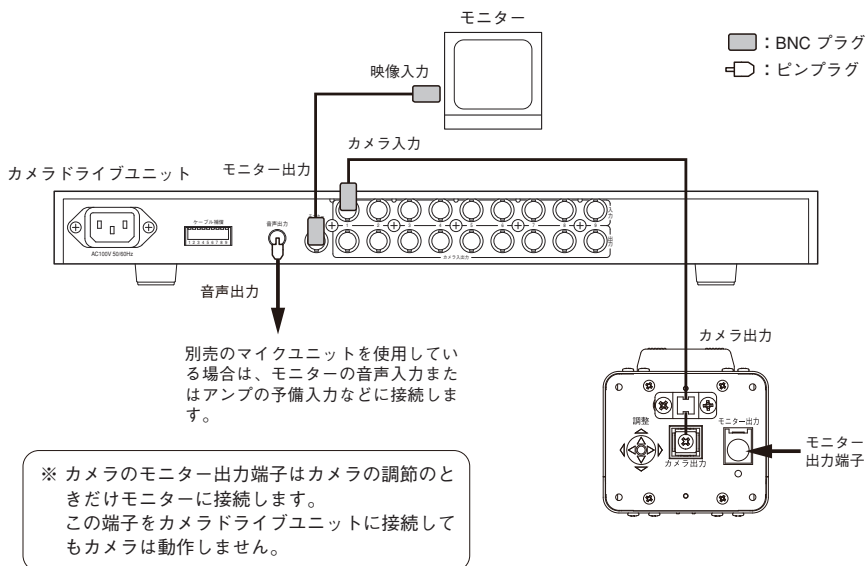
リアカバーは、リアカバー取付ねじで固定されています。
カバーの取り外しと取り付けは、このねじで行ってください。



■ 接続例

ご注意

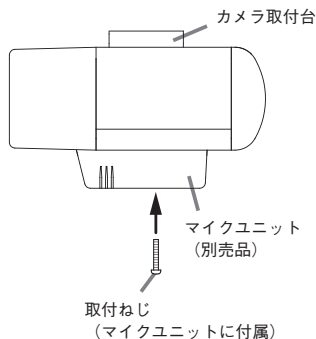
- 定電圧方式カメラドライブユニットに接続してください。
方式の異なるカメラドライブユニットに接続すると、正常に動作しません。また、故障の原因となります。
- カメラを接続する前に、必ずカメラドライブユニットの電源を切ってください。
カメラドライブユニットの電源を入れたままカメラを接続してもカメラは動作しません。
このようなときは、再度電源を入れなおしてください。



■ マイクユニット(別売品)の取り付けかた

マイクユニットは、付属の取付ねじでカメラに取り付けることができます。

- ※ マイクユニットは、カメラ取付台と反対の面に取り付けます。
- ※ マイクユニットの接続は、マイクユニットに付属の取扱説明書を参照してください。



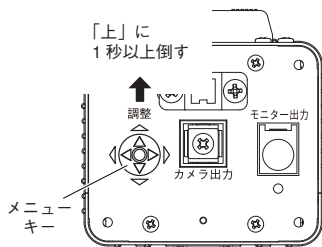
画角・フォーカスの調節のしかた

カメラの画角・フォーカスの調節を行うときは、調整モードを表示することで、より正確な調節ができます。

調整モードについて

メニューキーを1秒以上「上」に倒すと、調整モードに入ります。調整モードでは、グリッド線とフォーカスレベルが表示されます。グリッド線に沿って被写体の縦と横を合わせることで、カメラの角度が調節しやすくなります。特に縦方向のグリッド線と、被写体の縦線を平行にあわせると、カメラを正しく水平に設置することができます。

フォーカスレベルが最大になるようにフォーカスリングを調整することで、より厳密なフォーカス調整を行うことができます。調整モードは起動してから60秒経つと自動的に終了します。60秒以内に調整モードを終了したいときは、メニューキーを1秒以上「上」に倒します。

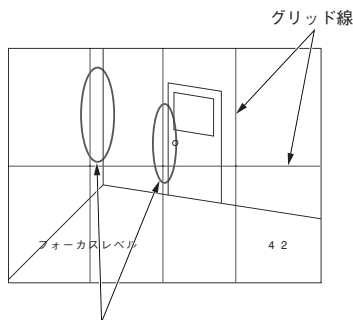


メモ

調整モードでは強制的に被写界深度が浅くなります。被写界深度が浅い状態でフォーカスを調節すると暗くなったときでもフォーカスがずれません。

ご注意

- 電源周波数が50 Hzの地域では、調整モード時にちらつき（フリッカー）が発生することがあります。また、ちらつきによってフォーカスレベルの数値が安定しないことがあります。このようなときは、実際の映像を見てフォーカスを合わせてください。（グリッド線を用いたカメラの角度調整には支障はありません。）
- 屋外などの非常に明るい被写体を映しているときに、調整モードを起動すると、画面にスミア（白い縦方向のノイズ）が出ることがありますが故障ではありません。調整モードを終了するとなくなります。



壁やドアの縦線をグリッド線（縦）と平行になるようにカメラの角度を調節します。

■ カメラの調節のしかた

1 カメラ本体の接続が終わったら、カメラドライブユニットの電源を「ON」にする。
カメラに電源が供給されます。

2 モニター出力端子にモニターを接続し、モニターで映像が見える状態にする。

3 メニューキーを 1 秒以上「上」に倒し、調整モードに入る。

【注意】

調整モードは、起動してから 60 秒経つと自動的に終了します。もう一度調整モードを起動するときは、再度メニューキーを 1 秒以上「上」に倒してください。

4 カメラの角度を調節する。

カメラ取付金具のロックレバーをゆるめ、映したい方向にカメラを向けた状態でロックレバーを締め付け、しっかりと固定してください。

調整モードで表示されるグリッド線に沿って、水平・垂直を調節します。

5 レンズの調節をする。

1. ズームリング固定ねじとフォーカスリング固定ねじを緩める。
2. ズームリングで画角を調節する。
3. 調整モードで表示されるフォーカスレベルが最大になるように、フォーカスリングで焦点を合わせる。
4. ズームリング固定ねじとフォーカスリング固定ねじを締める。

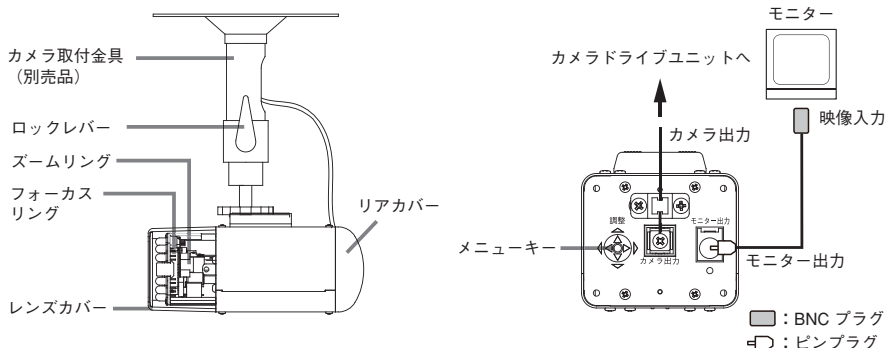
【注意】

- 本機内蔵の赤外 LED 照明以外の赤外線投光器や、白熱灯、ハロゲンライトなどの赤外線領域の強い照明を用いて暗い場所を撮影する場合、被写体によりカラーモード・白黒モードが頻繁に切り換わることがあります。このようなときは、赤外線投光器や白熱灯、ハロゲンライトの角度などを変更し、赤外線光量を減らすように調整してください。
- カメラと被写体との距離が近い場合（約 2 m 以下）、被写体によりカラーモード・白黒モードが頻繁に切り換わることがあります。このようなときは、カメラをできるだけ被写体から離して設置してください。
- シアン（水色）系の被写体が画面の大部分を占めるようなときは、白黒モードからカラーモードに切り換わりにくくなる場合があります。このようなときは、カメラの画角を少し変えるなどして、シアン系の被写体の占める割合を下げてください。
- レンズを広角端にセットしてナイトモードに切り換わった場合、映像の四隅にわずかなケラレ（白くなる）が発生することがありますが異常ではありません。気になる場合は、広角端から少し戻した画角で使用してください。

6 メニューキーを 1 秒以上「上」に倒し、調整モードを終了する。

7 すべての調節が完了したら、レンズカバーとリアカバーをカメラに取り付ける。

※ 詳しくは、P. 10「レンズカバーとリアカバーの取り付け・取り外しかた」を参照してください。



カメラ機能の設定のしかた

メニューキーでカメラの設定をすることができます。

■ 設定項目の一覧

カメラのメニュー画面は、以下の設定項目を表示する画面で構成されます。

カメラメニュー 1 / 3

〔設定項目〕

ブロッグレッシブ	(P. 16)
明るさ	(P. 16)
シャッタースピード	(P. 16)
ホワイトバランス	(P. 17)
AGC	(P. 17)
スローシャッター	(P. 17)
デイナイト	(P. 18)
LED	(P. 18)

カメラメニュー 2 / 3

逆光補正	(P. 19)
コントラスト補正	(P. 21)
色の濃さ	(P. 21)
エンハンサー	(P. 21)
ブライバシーマスク	(P. 22)
モニター設定	(P. 23)
反転	(P. 23)
電子ズーム	(P. 23)

カメラメニュー 3 / 3

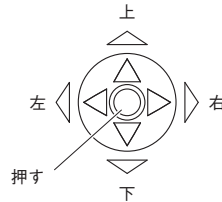
カメラ ID	(P. 24)
モーションディテクト	(P. 25)
LANGUAGE	(P. 25)
初期化	(P. 25)

■ カメラメニューの基本操作

カメラメニューはメニューキーを使用して設定します。

メニューキーの操作

カメラメニューの起動、終了：長押し（1 秒以上押す）
 設定項目、設定値の決定：押す
 設定項目の選択：「上」、「下」に倒す
 設定値の選択：「左」、「右」に倒す



1 メニューキーを長押し（1 秒以上押す）する。

カメラメニュー画面に入ります。
 「→」が点滅し、設定項目選択状態になります。

〔設定項目選択状態〕

設定項目	設定値
ログレッシュ アカルサ シャッタースピード ホワイトバランス AGC スローシャッター ダイナイト LED	ページ (1 / 3) OFF ヒョウジュン ATW R±0 B±0 AUTO-L X64 AUTO-H 5 SEC AUTO-H

2 メニューキーを上または下に倒して、画面左側の設定項目を選択する。

「→」が上または下の項目を超えると次の画面へ移動します。

3 メニューキーを押して設定項目を決定する。

設定項目の「→」が点滅から点灯に変わり、設定値が点滅します。
 設定値選択状態になります。

〔設定値選択状態〕

設定項目	設定値
ログレッシュ アカルサ シャッタースピード ホワイトバランス AGC スローシャッター ダイナイト LED	ページ (1 / 3) OFF ヒョウジュン ATW R±0 B±0 AUTO-L X64 AUTO-H 5 SEC AUTO-H

4 メニューキーを右または左に倒して、設定値を選択する。

5 メニューキーを押して設定値を決定する。

逆光補正など複数の設定値を設定する項目もあります。
 設定項目内のすべての設定値の設定が終了すると、設定項目選択状態に戻ります。

6 設定項目選択状態（「→」が点滅の状態）でメニューキーを長押し（1 秒以上押す）する。

カメラメニュー画面を終了します。

■ カメラメニュー画面 1 (ページ(1 / 3))の設定

※ 設定値で下線のあるものは初期値です。

[カメラメニュー画面 1]

● プログレッシブの設定

映像のスキャンモードを設定することができます。

OFF : インターレースモードで動作します。

ON (ODD) : 奇数フィールド先頭のプログレッシブスキャンモードで動作します。奇数フィールド先頭のフレーム録画が可能な録画機器との組み合わせではインターレースノイズが発生しないので、垂直解像度が 2 倍の精細な映像再生ができます。
TOA 製デジタルレコーダーでフレーム録画するときは、この設定で使用します。

ON (EVEN) : 偶数フィールド先頭のプログレッシブスキャンモードで動作します。偶数フィールド先頭のフレーム録画が可能な録画機器との組み合わせでは、垂直解像度が 2 倍の精細な映像再生が可能です。

ご注意

インターレースモードの映像をフレーム録画したり、奇数フィールド先頭・偶数フィールド先頭を間違えてフレーム録画すると、再生時にインターレースノイズが発生します。そのときは、デジタルレコーダーの設定とカメラの設定を確認し、正しく設定してください。

ページ (1 / 3)	
☒ プログレッシブ	OFF
アカルサ	
シャッタースピード	ヒョウジュン
ホワイトバランス	ATW
	R ± 0 B ± 0
AGC	AUTO-L
スローシャッター	X 6.4
ダイナイト	AUTO-H
	5 SEC
LED	AUTO-H

● 明るさの設定

映像の明るさ（アイリスレベル）を設定することができます。通常はカーソルを中央の位置で使します。カーソル [*] を右に動かすと映像が明るくなり、左に動かすと暗くなります。

● シャッタースピードの設定

シャッタースピードを設定することができます。

ヒョウジュン : 通常はこの設定で使します。

フリッカレス : 電源周波数が 50 Hz 地域で、蛍光灯のちらつき（フリッカー）が気になる場合は、この設定で使します。

1/125、1/250、1/500、1/1000、1/2000、1/4000、1/10000 :
シャッタースピードを選択した固定値に設定します。高速で動く被写体のぶれを少なくしたい場合などに使します。

AES : バリフォーカルレンズの絞りは強制的に開放され、被写体の明るさに応じて自動的にシャッタースピードを調整します。高速で動く被写体のぶれを少なくしたい場合などに使します。

ご注意

屋外などの非常に明るい被写体を映しているときに、高速なシャッタースピードや AES を選択すると、画面にスミア（白い縦方向のノイズ）が出るがありますが、故障ではありません。このようなときは、「ヒョウジュン」、「フリッカレス」、または「1/1000」までの比較的遅いシャッタースピードを選択すると、スミアが軽減されます。

● ホワイトバランスの設定

ホワイトバランスを設定することができます。通常は「ATW1」で使用します。

- ATW1** : 被写体の色温度が変化したとき、それに合わせてホワイトバランスを自動で調整します。
R で赤色の強さ、B で青色の強さを微調整できます。
- ATW2** : 被写体の色温度が変化したとき、それに合わせてホワイトバランスを自動で調整します。
緑や赤など単色の被写体が大部分を占め、「ATW1」では画面上の色と実際の色の違いが
気になるときに設定します。
- AWB** : カメラ設置時にホワイトバランスを設定します。被写体の色温度が変化しても設定したホ
ワイトバランスで動作します。
単色の被写体が大部分を占め、「ATW1」や「ATW2」では画面上の色と実際の色の違いが
気になるときや、被写体の色温度が頻繁に変化して、「ATW1」や「ATW2」では画面上の
色バランスの変化が気になるときは、この設定を使用します。R で赤色の強さ、B で青色
の強さを微調整できます。

マニュアル：手動でホワイトバランスを設定します。R で赤色の強さ、B で青色の強さを調整します。

ご注意

- ATW2 に設定したときに、被写体によってはホワイトバランスの自動調整が効きにくくなることがあり
ます。このようなときは、「ATW1」や「AWB」に設定してください。
- AWB に設定するときは、「AWB」を選択(AWBの文字が点滅)し、白い被写体(白い画用紙など)を画面いっ
ぱいに映した状態でメニューキーを押してください。約5秒後にホワイトバランスが固定されます。(画
面に「WAIT」の文字が点滅している間は、白い被写体を映し続けてください。)
その後、赤・青の強さを微調整してください。

● AGC の設定

AGC を設定することができます。通常は「AUTO-L」で使用します。

- AUTO-H** : 低照度時に、被写体の明るさに応じてゲインを自動調整します (強)。
AUTO-L よりも暗い被写体を明るく撮影できます。
ただし、暗い被写体を映したときは、AUTO-L に比べてザラザラしたノイズが多くなります。
- AUTO-L** : 低照度時に、被写体の明るさに応じてゲインを自動調整します (弱)。
- FIX-H** : ゲインを固定値 (強) に設定します。
- FIX-L** : ゲインを固定値 (弱) に設定します。
- OFF** : ゲインを OFF に設定します。

ご注意 デイナイトが「AUTO-H」や「AUTO-L」に設定されているときは、AGC は「AUTO-H」または
「AUTO-L」の選択になります。

● スローシャッターの設定

スローシャッターの倍率 (最大値) を設定することができます。

- × 2、× 4、× 8、× 16、× 32、× 64、× 128、× 256 :
スローシャッターの倍率 (最大値) を選択した値に設定します。被写体が暗くなると、
設定した倍率まで自動でスローシャッターになり、映像が明るくなります。
- OFF** : スローシャッターを OFF に設定します。

ご注意

- スローシャッターは、撮像素子に光を蓄える時間を通常より長くすることで実現します。このため速く
動く被写体に対しては、画像がぼやけてしまう残像現象が起こります。
- 「× 256」など高い倍率に設定しているときや真っ暗な場所で電気が点灯したときなど、瞬間的に被写
体が明るくなった場合、映像が白く明るい状態が数秒続くことがあります。
- 「× 256」など高い倍率に設定しているときにホワイトバランスが周期的にずれることがあります。こ
のようなときは、倍率を低くしたり、AGC を「AUTO-H」や「AUTO-L」に設定すると軽減されます。

● デイナイトの設定

デイナイトの切り換えを設定することができます。

AUTO-H (5 SEC) : 自動でデイモード(カラーカメラ)とナイトモード(高感度白黒カメラ)を切り換えます。デイモードとナイトモードが頻繁に切り換わってしまう誤動作を防ぐため、一度ナイトモードになると、十分に明るくなるまでデイモードには切り換わりません。切り換わり時間も設定できます。

AUTO-L : 自動でデイモード(カラーカメラ)とナイトモード(高感度白黒カメラ)が切り換わります。「AUTO-H」よりも暗い環境で、ナイトモードからデイモードへ切り換わります。切り換わり時間も設定できます。

ON (B/W) : 常時ナイトモード(高感度白黒カメラ)として動作します。

OFF : 常時デイモード(カラーカメラ)として動作します。

[切り換わり時間の設定のしかた]

切り換わり時間とは、デイモードからナイトモード、ナイトモードからデイモードへ切り換わるのに要する時間を表します。「1秒」「3秒」「5秒」「10秒」「30秒」「60秒」から選択することができます。被写体の明るさが頻繁に変化し、デイモードとナイトモードが頻繁に切り換わってしまうときは、長めに設定します。

【ご注意】

- 被写体が暗くなり約 2 lx になるとデイモードからナイトモードに切り換わります。デイモードからナイトモードへ切り換わる明るさは、「AUTO-H」と「AUTO-L」で同じです。ナイトモードからデイモードに切り換わる明るさは、「AUTO-H」設定時は約 8 lx、「AUTO-L」設定時は約 10 lx です。(画角や被写体によって変化します。)
- 以下のような場合にデイモードとナイトモードが頻繁に切り換わることがあります。
 - ・カメラと被写体の距離が近い場合
 - ・本機に内蔵している赤外 LED 照明以外の赤外線投光器や白熱灯、ハロゲンライトなどの赤外線領域の強い照明を用いて暗い場所を撮影する場合
このようなときは、以下の設定や設置の調整を行ってください。
 - ・デイナイトの設定を「AUTO-H」にして AGC の設定を「AUTO-H」する。また、内蔵の赤外 LED を使用しているときは、LED の設定を「AUTO-M」や「AUTO-L」にする。
 - ・カメラと被写体の距離を離したり、本機以外の赤外線投光器や白熱灯、ハロゲンライトの角度を変えし赤外線光量を減らす。
 - ・デイナイトの設定を固定モード(常時ナイトモードまたは常時デイモード)で使用する。
- 映像の明るさを暗く設定した場合、ナイトモードに切り換わりにくくなることがあります。
- シアン(水色)系の被写体が画面の大部分を占めるようなときは、ナイトモードからデイモードに切り換わりにくくなることがあります。このようなときは、カメラの画角を少し変更して、シアン系の被写体の占める割合を下げてください。

● LED の設定

赤外 LED 照明の設定をすることができます。通常は「AUTO-H」で使用します。

AUTO-H : ナイトモードに切り換わったときに、自動で内蔵の赤外 LED 照明を照射します(強)。

AUTO-M : ナイトモードに切り換わったときに、自動で内蔵の赤外 LED 照明を照射します(中)。照射強度は「AUTO-H」よりも弱くなります。「AUTO-H」ではナイトモードでの映像が明るくなりすぎる場合などに使用します。

AUTO-L : ナイトモードに切り換わったときに、自動で内蔵の赤外 LED 照明を照射します(弱)。照射強度は「AUTO-M」よりも弱くなります。「AUTO-H」や「AUTO-M」ではナイトモードでの映像が明るくなりすぎる場合などに使用します。

OFF : ナイトモードに切り換わっても、赤外 LED を照射しません。

● ご注意

- デイナイトが「OFF」に設定されているときは、LEDは「OFF」に設定されます。
- カメラハウジングに収納する場合は、LEDは「OFF」にしてください。カメラハウジングのガラス面での反射によって、映り込みが発生します。
- 以下のような場合にデイモードとナイトモードが頻繁に切り換えることがあります。
 - ・カメラと被写体の距離が近い場合
 - ・本機に内蔵している赤外LED照明以外の赤外線投光器や白熱灯、ハロゲンライトなどの赤外線領域の強い照明を用いて暗い場所を撮影する場合
 このようなときは、以下の設定や設置の調整を行ってください。
 - ・デイナイトの設定を「AUTO-H」にしてAGCの設定を「AUTO-H」する。また、内蔵の赤外LEDを使用しているときは、LEDの設定を「AUTO-M」や「AUTO-L」にする。
 - ・カメラと被写体の距離を離したり、本機以外の赤外線投光器や白熱灯、ハロゲンライトの角度を変え、赤外線光量を減らす。
 - ・デイナイトの設定を固定モード（常時ナイトモードまたは常時デイモード）で使用する。

■ カメラメニュー画面 2 (ページ(2 / 3))の設定

※ 設定値で下線のあるものは初期値です。

● 逆光補正の設定

逆光になる被写体を映したときでも被写体が黒くつぶれないように明るさを補正できます。

OFF : 逆光補正を OFF にします。

WDR : ワイドダイナミックモードに設定します。
画面内に屋内と屋外などの明るさの違う部分があり、それらを両方映す必要がある場合に使用します。

パターン 1 : 通常の逆光補正に設定します。画面内に屋内と屋外などの明るさの違う部分があり、どちらかを鮮明に映す必要がある場合に使用します。画面の中央と下部分の明るさが適切になるように制御します。

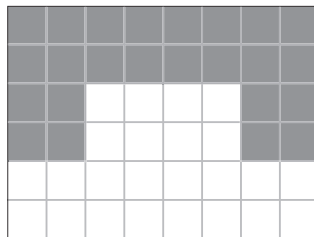
パターン 2 : 通常の逆光補正に設定します。画面内に屋内と屋外などの明るさの違う部分があり、どちらかを鮮明に映す必要がある場合に使用します。画面の中央部分の明るさが適切になるように制御します。

マニュアル : 通常の逆光補正に設定します。画面内に屋内と屋外などの明るさの違う部分があり、どちらかを鮮明に映す必要がある場合に使用します。最適な明るさに制御したいエリアを自由に設定できます。

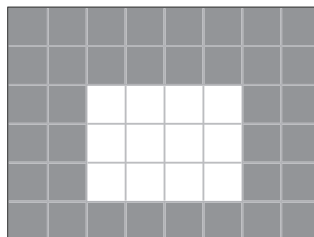
[カメラメニュー画面 2]

ページ (2 / 3)	
← ギャッコウホセイ	OFF
コントラストホセイ	HIGH
イロノコサ	
エンハンサ	
ブライバシマスク	OFF
モニターセッテイ	セッテイ 1
ハンテン	OFF
デンシズーム	OFF

[パターン 1]



[パターン 2]



[WDR (ワイドダイナミック)とマニュアル選択時のマスクエリアの設定]

逆光補正の設定で「WDR」または「マニュアル」を選択したときは、下図のように画面を48分割されたエリアごとに、マスク（機能を無効にする）を設定できます。

1 「WDR」または「マニュアル」を選択し、メニューキーを押して決定する。

エリア設定画面が表示されます。

[エリア設定画面]

2 マスクをかけるエリアを設定する。

- メニューキーを右または左に倒してエリアを移動し、マスクをかけるエリアを選択します。

メ モ

右に倒すとエリア1、左に倒すとエリア48から始まります。

- メニューキーを押して決定します。エリアがグレーになります。
- メニューキーを押すごとに、マスクの有無が切り換わります。

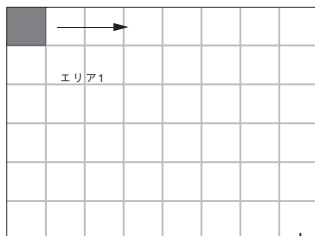
※マスクをかけない場合 → 手順4へ



3 手順2を繰り返して、マスクをかけるすべてのエリアを設定する。

メ モ

マスク設定されたエリア（グレー）はワイドダイナミック動作に影響しません。



エリア48

4 エリアを移動し、[エリア シュウリョウ]と表示している画面で、メニューキーを押して決定する。

マスクエリアが設定されます。

5 補正レベルバーでマスク設定されていないエリアのレベル調整を行う。

「WDR」を選択したときに調整できます。カーソル[*]を右に動かすとワイドダイナミックの効果が強くなり、左に動かすと弱くなります。

ご注意

- プログレスシブモードが「ON (ODD)」または「ON (EVEN)」に設定されているときは、「WDR」を選択できません。
- シャッタースピードが「ヒョウジュン」や「フリッカレス」以外に設定されているときは、「WDR」を選択できません。
- AGCが「FIX-H」や「FIX-L」に設定されているときは、ワイドダイナミック機能は働きません。
- 画面内に動きの多い被写体がある場合、ワイドダイナミックの効果が変動し、画面の明るさが頻繁に変化することがあります。また、黒色の被写体がある場合、ワイドダイナミックの効果が強くなりすぎることがあります。このようなときは、マスク設定で動きの多い被写体や黒色の被写体の部分をマスクしたり、「WDR」の補正レベルを弱くしてください。
- 「WDR」を選択して屋外などの非常に明るい被写体を映していると、画面にスミア（白い縦方向のノイズ）が出ることがありますが、故障ではありません。このようなときは、「WDR」の補正レベルを弱くするとスミアが軽減されることがあります。軽減されない場合は「WDR」以外の設定値を選択してください。
- シャッタースピードが「フリッカレス」に設定されていても、ワイドダイナミック機能が働くと、蛍光灯のちらつき（フリッカー）が気になることがあります。ちらつきが気になる場合は「WDR」以外の設定値を選択してください。

● コントラスト補正の設定

映像のコントラストを補正することができます。通常は「HIGH」で使します。

- HIGH** : コントラスト補正を有効にします（強）。
映像のコントラストを改善し、画面内の暗い部分を明るくしたいときに設定します。
- LOW** : コントラスト補正を有効にします（弱）。
映像のコントラストを改善し、画面内の暗い部分を明るくしたいときに設定します。補正量は「HIGH」より弱くなります。
- OFF** : コントラスト補正を OFF にします。

ご注意

- 画面内のコントラストが少なく暗い部分が少ない場合は、設定を変更しても映像に変化がない場合があります。このような場合でも、画面内の被写体にコントラストの変化があれば本機能が自動的に働きます。
- 屋外と屋内の両方を同時に映すときや画面内のコントラストが非常に大きい場合は、コントラスト補正と逆光補正の「WDR」を併用すると高い効果が得られます。室内を映すとき画面内の一部に暗い部分があるような場合は、コントラスト補正のみを設定します。

● 色の濃さの設定

好みに合わせて被写体の色の濃さを設定することができます。
カーソル [＊] を右に動かすと色が濃くなり、左に動かすと薄くなります。

● エンハンサーの設定

好みに合わせて被写体の輪郭を強調することができます。
カーソル [＊] を右に動かすと輪郭が強くなり、左に動かすと弱くなります。

ご注意

エンハンサーを強く設定すると、デジタルレコーダーなどで録画映像を再生した際に細かいノイズが目立つときがあります。このようなときは、エンハンサーを弱めに設定してください。

● プライバシーマスクの設定

撮影場所の中に映たくない場所がある場合、マスクエリアを4ヵ所設定することができます。

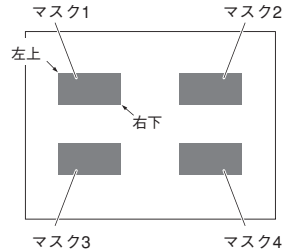
OFF : プライバシーマスクを OFF にします。

ON : プライバシーマスクを設定します。マスクされた部分はグレー（灰色）になります。

[プライバシーマスクエリアの選択]

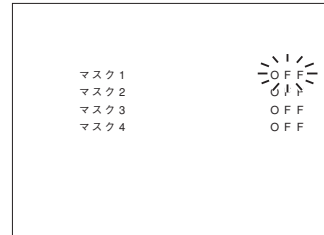
初期状態では右図の範囲に設定されています。

マスクをかける位置に最も近いマスクの番号を選択し、左上と右下の位置を移動させて、マスクエリアを調節します。

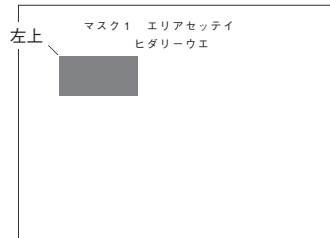


[プライバシーマスクエリアの設定]

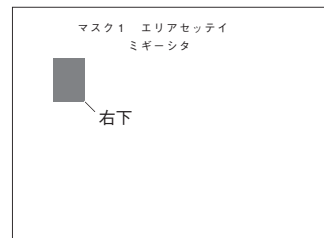
[マスク番号選択画面]



[マスク1エリア設定（左上）画面]



[マスク1エリア設定（右下）画面]



- 1 プライバシーマスクで「ON」を選択し、メニューキーを押して決定する。

マスク番号選択画面が表示されます。

- 2 マスク1を「ON」にし、メニューキーを押して決定する。

マスク1エリア設定（左上）画面が表示されます。

☐ メ モ

マスク1を選択しない場合は「OFF」の状態メニューキーを押して決定します。マスク番号選択画面に移り、マスク2の設定を行います。

- 3 メニューキーを上、下、左、右に倒してマスクエリア左上の位置を調節し、メニューキーを押して決定する。

マスク1エリア設定（右下）画面が表示されます。

- 4 メニューキーを上、下、左、右に倒してマスクエリア右下の位置を調節し、メニューキーを押して決定する。

- 5 同様にして、マスク2～4をすべて設定する。

● モニターの設定

モニターの特性に合わせた設定をすることができます。通常は「セッテイ 1」で使用します。

セッテイ 1：標準的なモニターで映像を見る場合に使用します。

セッテイ 2：モニターの特性で全体的に白っぽい映像になってしまう場合に使用します。

マニュアル：モニターの特性に合わせて調整できます。「セットアップ」と「バースト」の設定を行います。

[セットアップレベルバーの設定]

カーソルを右に動かすと映像が白っぽくなります。

バー中央は「セッテイ 1」と同じレベル、バー左端は「セッテイ 2」と同じレベルです。

[バーストの設定]

ナイトモード（白黒）に切り換わったときのカラーバースト信号の有無を設定できます。通常は「ON」で使用します。

☐ メ ☐ モ

「OFF」に設定すると、モニターやデジタルレコーダーによってはデイナイトモードが切り換わるときに誤動作することがあります。

● 反転の設定

水平方向（H）、垂直方向（V）で画像を反転することができます。

OFF : 反転機能を OFF にします。

H ハンテン : 映像の左右を反転します。

V ハンテン : 映像の上下を反転します。

HV ハンテン: 映像の左右と上下を反転します。

● 電子ズームの設定

ズームするエリアを設定することができます。指定エリアを 2 倍で映すことができます。通常は「OFF」で使用します。

OFF : 電子ズームを OFF にします。

ON : 電子ズームを ON にします。

[ズームエリアの設定]

[ズームエリア設定画面]

1 「ON」を選択し、メニューキーを押して決定する。

ズームエリア設定画面が表示されます。

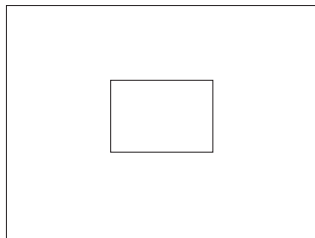
2 メニューキーを上、下、左、右に倒してエリアの位置を設定する。

☐ メ ☐ モ エリアの位置は変更できますが、エリアの大きさは変更できません。

3 メニューキーを押して決定する。

【ご注意】

プログレッシブモードが「ON (ODD)」または「ON (EVEN)」に設定されているときは、電子ズームを「ON」に設定できません。



■ カメラメニュー画面 3 (ページ(3 / 3))の設定

※ 設定値で下線のあるものは初期値です。

● カメラ ID の設定

最大 16 文字 (数字・アルファベット・ひらがな・カタカナ・記号) のカメラ ID を設定できます。また、表示位置を調整できます。

OFF : カメラ ID 表示を OFF にします。

ON : カメラ ID 表示を ON にします。

[カメラメニュー画面 3]

カメラ ID	ページ (3 / 3)
モーションディテクト	OFF
	OFF
LANGUAGE	JAPANESE
シヨキカ	NO

[カメラ ID の入力のしかた]

カメラのタイトル文字を入力します。

1 「ON」を選択し、メニューキーを押して決定する。

カメラ ID 入力画面 (ひらがな入力画面) が表示されます。

2 メニューキーを上、下、左、右に倒して入力したい文字を選択し、メニューキーを押して決定する。

タイトル領域内の [*] が 1 文字右に移動し、文字の入力待ちになります。

[文字選択領域のキー操作]

← : タイトル領域のカーソル左移動

→ : タイトル領域のカーソル右移動

BS : タイトル領域のカーソルより右を全文字消去

スペース : 一文字空白

エイスイウ : 英数入力画面に切り替えます。英数入力画面は、大文字、小文字のアルファベット、数字、記号を表示します。

かな : ひらがな入力画面に切り換えます。ひらがな入力画面はひらがなを表示します。

カナ : カタカナ入力画面に切り換えます。カタカナ入力画面はカタカナを表示します。

エンド : カメラ ID 入力画面を終了します。

[英数入力画面] タイトル領域

←	BS	スペース	かな	カナ	エンド											
A B C D E F G H I J K L M																
N O P Q R S T U V W X Y Z																
a b c d e f g h i j k l m																
n o p q r s t u v w x y z																
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 / ! ?																
() < > : ; , - ' & # % ^																
文字選択領域																

[ひらがな入力画面]

← BS スペース エイスウ カナ エンド															
あかさたなはまやらわ がざだば あつや															
いきしちにひみ りを ぎじぢび び い															
うくすつぬふゆるん ぐずつぶ ぶ う ゆ															
えけせてねへめ れ げぜでべ べ え															
おこそとのほもよろ ごぞどぼ ぼ お よ															

[カタカナ入力画面]

← BS スペース エイスウ かな エンド															
アカサタナハマヤラワ ガザダバ バ アツヤ															
イキシチニヒミ リヲ ギジヂビ ビ イ															
ウクスツヌフユルン グズツブ ブ ウ ユ															
エケセテネヘメ レ ゲゼデベ ベ エ															
オコントノホモヨロ ゴゾドボ ボ オ ヨ															

[カメラ ID 表示位置設定画面]

カメラ 1
イチセツテイ

● モーションディテクトの設定

モーションディテクトの設定ができます。通常は「OFF」で使します。

OFF : モーションディテクトを OFF にします。

ON : モーションディテクトを ON にします。

画面内で動きを感知すると、画面左上に「MD」の表示をします。

[モーションディテクトのマスクエリアの設定]

モ モーションディテクトのマスクエリアの設定は、P. 20「[WDR（ワイドダイナミック）とマニュアル選択時のマスクエリアの設定]」と同じ設定を行います。

1 「ON」を選択し、メニューキーを押して決定する。

エリア設定画面が表示されます。

2 マスクをかけるエリアを設定する。

- メニューキーで右または左にマスクを移動してエリアを選択します。
- メニューキーを押して決定します。
- メニューキーを押すごとに、マスクの有無が切り換わります。

3 手順2を繰り返して、マスクをかけるすべてのエリアを設定する。

マスク設定されたエリア（グレー）はモーションディテクトが動きません。

4 エリアを移動し、[エリア シュウリョウ]と表示している画面で、メニューキーを押して決定する。

マスクエリアが設定されます。

5 補正レベルバーでマスク設定されていないエリアのレベル調整を行う。

カーソル[*]を右に動かすと感度が高くなり、左に動かすと低くなります。

● LANGUAGE の設定

カメラメニュー画面の表示を日本語または英語にすることができます。

JAPANESE : 日本語表示に設定します。

ENGLISH : 英語表示に設定します。

● 初期化の設定

カメラメニューの設定値を初期化します。

NO : 初期化を行いません。

YES : 初期化を行います。すべての設定を工場出荷状態に戻します。

[初期化の実行]

1 「YES」を選択し、メニューキーを押して決定する。

再確認画面が表示されます。

2 「YES」を選択し、メニューキーを押して決定する。

初期化を実行します。

● ご注意

初期化を行ったとき、映像信号が一瞬途切れます。デジタルレコーダーなどに接続している場合は、ビデオロスアラームや異常ログとして検知してしまうことがあります。

故障かな？と思ったら

症 状	調べるところ	対 処
カメラが映らない。	ケーブルは正しく接続されていますか？	正しく接続してください。
	定電流方式カメラドライブユニットに接続していませんか？	定電圧カメラドライブユニットに接続してください。
	カメラを接続してからカメラドライブユニットの電源を入れましたか？	電源を切り、再度電源を入れてください。
映像がはっきりしない。	レンズの焦点は合っていますか？	レンズの調節をしてください。
	レンズやレンズカバー、ドーム面が汚れていませんか？	カメラ用ブロワーやレンズクリーニングペーパーなどで、汚れを清掃してください。
	ケーブルの延長距離は規定値以内ですか？	規定された最大延長距離以内で使用してください。ケーブルの種類によって最大延長距離は変わります。詳しくはカメラドライブユニットの取扱説明書を参照してください。
	モニターや録画装置は正しく設定されていますか？	モニターや録画装置の取扱説明書に従い設定してください。
	カメラの設定が以下のいずれかの設定のときに、スミア（白い縦方向のノイズ）が出ていませんか？ ・調整モード時 ・シャッタースピードが「AES」や「1/10000」などの高速シャッター設定時 ・逆光補正が「WDR」設定時	設定を変更してください。 ・調整モードを終了する。 ・シャッタースピードを「ヒョウジュン」、「フリッカレス」または「1/1000」までの低速シャッターに設定する。 ・逆光補正の「WDR」の補正レベルを弱くする。または「WDR」以外の設定値を選択する。
ナイトモード時に映像がはっきりしない。	レンズ周囲にある遮光リングが外れたり、ずれたりしていませんか？	遮光リングを正しくセットしてください。
	レンズやレンズカバー、ドーム面が汚れていませんか？	カメラ用ブロワーやレンズクリーニングペーパーなどで、汚れを清掃してください。
	カメラハウジングに収納して使用していませんか？	カメラハウジングに収納する場合は、カメラメニューのLEDの設定を「OFF」にしてください。
蛍光灯下で映像がちらつく（50 Hz 地域）。	カメラメニューのシャッタースピードの設定が「フリッカレス」になっていますか？	商用電源が 50 Hz の地域では、蛍光灯下で映像がちらつくことがあります。このようなときは、カメラメニューのシャッタースピードの設定を「フリッカレス」にしてください。
シャッタースピードの設定が「フリッカレス」になっていても蛍光灯下で映像がちらつく（50 Hz 地域）。	逆光補正の設定が「WDR」になっていませんか？	シャッタースピードが「フリッカレス」に設定されていてもワイドダイナミック機能が働くと、蛍光灯のちらつき（フリッカー）が気になることがあります。ちらつきが気になる場合は、逆光補正の設定を「WDR」以外にしてください。

仕 様

電 源	カメラドライブユニットから DC 電源供給(定電圧)
消 費 電 力	4 W
撮 像 素 子	1/3 型 IT-CCD
有 効 画 素 数	768 (H) × 494 (V)、38 万画素
走 査 方 式	2 : 1 インターレース／プログレッシブ (ワイドダイナミック設定時は 2 : 1 インターレース)
走 査 周 波 数	水平 : 15.734 kHz、垂直 : 59.94 Hz
モ ニ タ ー 出 力	VBS1.0 V(p-p)、75 Ω、RCA ピンジャック、NTSC 方式
カ メ ラ 出 力	VBS1.0 V(p-p)、75 Ω、M3 ねじ端子、NTSC 方式
同 期 方 式	内部同期
解 像 度 (中 心 部)	水平 : 540 TV 本(標準)、垂直 : 400 TV 本
S N 比	50 dB (AGC OFF 時)
最 低 被 写 体 照 度	0.5 lx (50 IRE、カラー、スローシャッター OFF 時) 0.1 lx (20 IRE、カラー、スローシャッター OFF 時) 0.0016 lx (20 IRE、カラー、スローシャッター 64 倍時、換算値) 0.05 lx (50 IRE、白黒、スローシャッター OFF 時) 0.0008 lx (50 IRE、白黒、スローシャッター 64 倍時、換算値) 0 lx (50 IRE、白黒、スローシャッター OFF・赤外 LED 点灯時) ※ フリッカーレス : OFF、AGC : AUTO-H
ダイナミックレンジ	46 dB 以上(逆光補正 : ワイドダイナミック設定時)
逆 光 補 正	ワイドダイナミック／パターン 1／パターン 2／マニュアル／OFF
シャッタースピード	標準、フリッカーレス、1/125、1/250、1/500、1/1000、1/2000、1/4000、1/10000、AES
A G C	AUTO-H／AUTO-L／FIX-H／FIX-L／OFF
感 度 ア ッ プ (スローシャッター)	OFF、2、4、8、16、32、64、128、256 倍
ホ ワ イ ト バ ラ ン ス	ATW1／ATW2／AWB／マニュアル
焦 点 距 離	f = 3.0 ～ 10.5 mm
最 大 口 径 比	1 : 1.2 ～ 2.7
ア イ リ ス	オートアイリス
画 角	水平 : 97.5° ～ 27.1°、垂直 : 70.7° ～ 20.3°、対角 : 126.7° ～ 33.8°
赤 外 LED 照 射 距 離	約 12 m (スローシャッター OFF 時)、約 20 m (スローシャッター 8 倍時)
文 字 表 示	最大 16 文字(数字、ひらがな、カタカナ、アルファベット、記号)
機 能	調整モード、プログレッシブ切換(ODD／EVEN／OFF)、アイリス調節、デイナイト切換(AUTO-H／AUTO-L／ON／OFF)、赤外 LED (HIGH／MID／LOW／OFF)、コントラスト補正(HIGH／LOW／OFF)、色の濃さ、エンハンサー、ブライバシーマスク(ON／OFF、4 カ所)、モニター設定(設定 1／設定 2／マニュアル)、反転(左右／上下／回転)、電子ズーム(2 倍)、モーションディテクト、ノイズリダクション(常時)
使 用 温 度 範 囲	-10℃ ～ +50℃
使 用 湿 度 範 囲	90% RH 以下(ただし結露のないこと)
使 用 場 所	屋内
仕 上	ケース : 表面処理鋼板、クールグレー (マンセル 6.3Y8.9/0.4 近似色)、塗装 レンズカバー、リアカバー : ABS 樹脂、クールグレー (マンセル 6.3Y8.9/0.4 近似色)
寸 法	63 (W) × 62.5 (H) × 137.2 (D) mm
質 量	320 g

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

● 別売品

カメラドライブユニット
カメラ取付金具

マイクユニット

保証書

機器保証書

品番		製造（ロット）番号		この保証書は、下記記載の内容により無償修理を行うことをお約束するものです。 お買い上げの日から左記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。	
保証期間		お買い上げ日から 1 年間			
お買上日		□□□□ 年 □□ 月 □□ 日			
お客様様	ご住所	□□□□□□ TEL () -		販売店	住 所・店名・TEL
	お名前	様			

上記保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から 1 年間です。なお、保証期間中でも有料になることがありますので、下記をよくお読みください。

< 無償修理規定 >

- 上記記載の保証期間内において、取扱説明書、本体注意ラベルなどに従った、正常な使用状態で万一故障した場合、お買い上げの販売店に修理をご依頼のうえ、修理に際して本書をご提示ください。お買い上げの販売店が無償修理を致します。
- 保証期間内でも、次の場合には有償修理になります。
 - ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障または損傷。
 - お買い上げ後の輸送、移転、落下などによる故障および損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
 - 離島および離島に準ずる遠隔地への出張旅費および壁面・高所・難所に設置されている場合のセットの取り外し・取り付けを行った場合はそれに要する実費。
 - 自然消耗により部品を交換する場合。
 - 本製品に接続している当社指定以外の機器故障に起因する故障。
 - 保証書のご提示がない場合。
 - 保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入がない場合、または、字句が書き換えられた場合。
- この保証書は、日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

修理メモ

- * 本製品の故障に起因する付随的損害についての保証はお受けできません。
- * この保証書は本書に明記した期間、条件の下において無償修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合、お買い上げの販売店または最寄りの当社営業所・サービスステーションにお問い合わせください。

商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合、お買い上げの販売店または最寄りの当社営業所・サービスステーションにお問い合わせください。

TOA お客様相談センター
商品の内容や組み合わせ、設置方法などについて
の技術的なお問い合わせにお応えします。
受付時間 9:00 ~ 17:00 (土日、祝日除く)

フリーダイヤル 0120-108-117
ナビダイヤル 0570-064-475 (有料)
FAX 0570-017-108 (有料)
※ PHS、IP 電話からはつながりません。

最寄りの営業所については、下記のホームページをご確認ください。

TOA ホームページ <http://www.toa.co.jp/>



133-02-00216-00